

2019年2月16日

課題名：International Survey on Technical Aspects of Laparoscopic Liver Resection-2 (INSTALL-2)
高難度腹腔鏡下肝切除術についての国際調査

◆研究の目的と概要◆

腹腔鏡下手術は1985年に腹腔鏡下胆嚢摘出術が施行された事を皮切りに急速に普及して参りました。腹腔鏡下肝切除(Laparoscopic Liver Resection 以下LLR)においては1991年に米国で肝部分切除が施行された後に本邦においても1993年に初例が施行され、2002年にはフランスにおいて生体肝移植ドナーにおいても施行されるなど、他の領域に追随するように発展した経緯がございます。2010年には本邦においても肝部分切除および外側区域切除といった術式が保険収載され、葉切除や区域切除といった大肝切除においても臨床研究に基づきその技術が研鑽されて参りました。2014年には本邦の盛岡においての腹腔鏡下肝切除国際コンセンサスミーティングにおいて、LLRのエキスパートと開腹肝切除のエキスパートによって、腹腔鏡下大肝切除は未だ発展途上の術式であり限られた施設のみが行うべきという結論にいたっています。また本研究の前研究であるInternational Survey on Technical Aspects of Laparoscopic Liver Resection-1 (INSTALL-1)においては国際的なLLRの普及率を明らかにしました。その後も国内外において急速に腹腔鏡下肝切除は普及しており2017年には本邦においても大肝切除が保険収載となりました。今回2014年時点では発展途上とされた大肝切除を含めた“高難度”腹腔鏡下肝切除の国際的な現状把握を目的としております。

◆対象となる患者さん◆

倉敷中央病院において、2014年1月から2018年9月までの期間に“高難度”腹腔鏡下肝切除術をうけられた患者さん

◆研究に使用される情報・試料◆

以下の項目について、対象となる患者さんの診療録から情報を入手し利用します。

- ① 患者背景：年齢、Child-Pughスコア、脳症の有無、腹水の有無
- ② 腫瘍背景：手術適応(病名)、腫瘍の主座、腫瘍最大径、腫瘍脈管との位置関係
- ③ 手術情報：手術日、術式、解剖学的切除か否か、“高難度”の経緯(下記症例参照)、完全腹腔鏡下切除か否か、開腹移行、手術時間、出血量、RO切除か
- ④ 術後情報：Clavien-Dindo IIIa以上の合併症の有無、合併症の種類、退院日
在院死亡の有無、90日以内の再入院の有無、90日死亡の有無

◆研究方法◆

この研究の対象となる患者さんで、研究へのご協力に同意いただいた方から、上記の「診療情報」を利用させていただきます。なお、この研究にご協力いただけるか否かによって、治療方法が変わることは全くありません。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

慶應義塾大学医学部外科学（一般・消化器）

多施設共同研究のため、共同研究機関を下記に記載します。

○国内施設

共同研究機関	研究責任者
熊本大学大学院生命科学研究部 小児外科学・移植外科学分野 教授	日比泰造
上尾中央総合病院肝胆膵疾患先進治療センター長	若林剛
藤田医科大学病院一般外科学講座 教授	守瀬善一
東京医科歯科大学肝胆膵外科 教授	田邊稔
東邦大学医学部一般消化器外科学講座 特任教授	金子弘真
東邦大学医学部一般消化器外科学講座 准教授	大塚 由一郎
大阪市立大学肝胆膵外科 教授	久保正二
大阪市立大学肝胆膵外科 講師	田中肖吾
関西労災病院外科 肝胆膵外科部長	武田裕
大阪市立総合医療センター肝胆膵外科部長	金沢景繁
都立駒込病院肝胆膵外科 医員	大目祐介
岩手医科大学外科 特任准教授	新田浩幸
藤田医科大学病院総合消化器外科 講座教授	杉岡篤
藤田医科大学病院総合消化器外科 教授	加藤悠太郎
久留米大学肝胆膵外科 准教授	安永昌史
慶應義塾大学外科学教室 一般・消化器 准教授	篠田昌宏
国際医療福祉大学医学部消化器外科 主任教授	板野理
国立がん研究センター東病院肝胆膵外科長	後藤田直人
北里大学一般消化器外科 診療教授	隈元雄介
和歌山県立医科大学第2外科 講師	上野昌樹
倉敷中央病院外科 医長	橋田和樹
神戸大学肝胆膵外科 特任教授	木戸正浩
静岡県立静岡がんセンター肝胆膵外科 医長	岡村行泰
福山市民病院外科 診療部次長	貞森裕

名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科学 教授	瀧口修司
兵庫医科大学病院 肝・胆・膵外科 教授	波多野悦郎
福島県立医科大学 肝胆膵・移植外科学講座 教授	丸橋繁
独立行政法人国立病院機構埼玉病院 外科部長	早津成夫
奈良県立医科大学 消化器・総合外科 学内講師	野見武男

○国外施設

共同研究機関	研究責任者
Department of General and HPB Surgery, Loreto Nuovo Hospital, Italy	Giulio Belli
Hepatobiliary Division in Department of Surgery, San Raffaele Hospital, Italy	Luca Aldrighetti
General Hepato-Biliary and Liver Transplantation Surgery Ghent University Hospital Medical School, Belgium	Roberto I Troisi
Paul Brousse Hospital, Villejuif, France Universite Paris Sud	Daniel Cherqui
Professor of Surgery and chairs the Department of HPB Surgery and Liver Transplant, Beaujon Hospital, Clichy, France	Olivier Soubrane
Faculte de medecine Pierre et Marie Curie, Pierre and Marie Curie University - Paris 6, Paris, France	Oliver Scatton
University Hospital Southampton, UK	Moh'd Abu Hilal
Department of Liver Transplant and HBP Surgery , University Hospital Reina Sofia, Cordoba, Spain	Ruben Ciria
Tulane Transplant Abdominal Institute, Tulane University, USA	Joseph F. Buell
Hepato-Bilio-Pancreatic Unit of Clinica Universitaria de Navarra, Navarra, Spain	Fernando Roteller
Paris-Sud University, Orsay, France	Ibrahim Dagher
Department of Digestive Diseases, Institute Mutualiste Montsouris, University of Paris–Descartes, Paris, France	Bjorn Edwin
Department of Surgery, University of Pittsburgh, Pittsburgh, Pennsylvania,USA.	David A. Geller
Upper GI Surgical Unit, Wesley Private Hospital, The University of Queensland, Brisbane, Queensland, Australia.	Nicholas O'Rourke
Division of HBP and Liver Transplant, University of Hong Kong Queen Mary Hospital Hong Kong	Tan To Cheung
Division of General Surgery, Far-Eastern Memorial Hospital Taipei, Taiwan	Kuo-Hsin Chen

Department of Surgery, Samsung Medical Center Sungkyunkwan University School of Medicine, Korea/ Cliveland clinic, USA	Choon Hyuck David Kwon
Seoul National University Bundang Hospital Seoul National University, College of Medicine, Korea	Ho-Seong Han
Seoul National University Hospital Department of Hepatobiliary and Pancreatic Surgery, Korea	Kyung Suk Suh
Department of Surgery and Surgical Oncology, Koo Foundation Sun Yat-Sen Cancer Center, Taiwan	Chung-Wei Lin
Associate Professor, Department of surgery, National Taiwan university Hopsital	Yao Ming Wu
Yonsei University Health System (Severance Hospital)	Gi-Hong Choi
King's College Hospital	Krishna Menon
Sirio Libanes Hospital	Marcel Machado
GEM Hospital and Research Centre	Chinnusamy Palanivelu
Hospital Italiano de Buenos Aires	Juan Pekolj
Singapore General Hospital	Chung Yip Chan
Charite Berlin	Moritz Schmelzle
Froedtert Hospital	Thomas Clark Gamblin
The University of Hong Kong	Albert Chan
Barretos Cancer Hospital	Raphael Araujo
Carolinas Medical Center	David Iannitti
University of São Paulo Medical School	Paulo Herman
Govind Ballabh Pant Hospital	Anil Agarwal
Sir Run Run Shaw Hospital	Xiu-Jun Cai
Chinese General Hospital and Medical Center	Catherine The
Université de Strasbourg	Patrick Pessaux
Virginia Mason Medical Center	Adnan Alseidi
Mayo Clinic	Sean Cleary

* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は

利用しません。

- * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

外科 研究責任者 橋田和樹

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明